

日本僑報

題字:人民日報前社長邵華澤先生

第77号 発行/日本僑報社 定価/300円
〒333-0866 川口市芝5-6-6 TEL048-432-7332 FAX432-7335
http://duan.jp duan@duan.jp 編集長/段躍中



宋健獲早大名譽博士

『中国の「対日新思考」は実現できるか』刊行

馮昭奎・前中国社会科学院日本研究所副所長の初めての日本語著書『中国の「対日新思考」は実現できるか「対中新思考」のすすめ』が10月に本社より刊行された。この本は酒井誠・社団法人日中友好協会事務局局長監訳、村田忠禧・横浜国立大学教授ら五人訳。推薦者は下記の通りである。

『中国の「対日新思考」は実現できるか』を推薦

岡部達味・前日中友好21世紀委員会日本側座長
北川文章・(財)霞山会理事長
佐藤嘉恭・元中国駐在日大使
白西紳一郎・(社)日中協会理事長
白建由・東洋学園大学教授
朱建栄・民主党政策調査会長
高井潔司・北海道大学教授

高野孟・ジャーナリスト
谷口誠・早稲田大学教授
谷野作太郎・前中国駐在日大使
西忠雄・日中経済ジャーナリスト
西吹晋・前横浜市立大学教授
矢進慶・東京経済大学名誉教授
劉進慶・東京経済大学名誉教授
凌星光・福井県立大学名誉教授(五十音順)

中国共産党・国家・軍を動かす 胡錦濤の対日政策

—歴代指導者が語った「日中関係」—



対日関係では江沢民がことあるごとに歴史問題を持ち出し、反日的イメージが強かったのに比べ、胡錦濤は未来志向の実務的な対日政策に取り

組むだろうと期待されている。だが、胡錦濤自身が対日政策を公に語ったことはほとんどなく、どのような方針を打ち出すのかは不透明な部分が多い。日本の将来にも重大な影響を及ぼす胡錦濤の対日政策とは如何なるものか。胡の対日観はどこから生まれ、どこへ向かおうとしているのか。これまで公表された言動から探ってみたい・・・(鈴木・第一章より)



前中国社会科学院日本研究所副所長馮昭奎
東京新聞中国総局長 鈴木孝昌 共著

三面 宋健講演録

友誼的金橋

日中記者物語 P7

